



～ 第1回 価値創造産業と『動的』知財マネジメント シンポジウム ～
価値創造産業の経営をデザインする～『動的』知財マネジメントとは何か？

主催： 早稲田大学-大学院 創造理工学研究科経営デザイン専攻(2010年4月創設・開講)

共催： 中小企業基盤整備機構・中小企業大学校、(株)日本総合研究所

【趣旨】

今、日本は、明治以来の大きな変革が求められています。早稲田大学では、2010年4月に大学院創造理工学研究科に新専攻(経営デザイン)を新設することになりました。

知財マネジメント関係において第1回目のシンポジウムを新専攻の知財マネジメントプログラムを共同で行う中小企業基盤整備機構・中小企業大学校、(株)日本総合研究所との産学連携型の共催により開催します。また、日本知的財産協会、日本弁理士会、わが国の企業での先進的な知財マネジメントを行っている企業の最前線の幹部から講演をいただき、日本の活力を生み出す最前線の価値創造型リーダーによる経営デザインと、企業経営を動かす『動的』知財マネジメントとは何かについて明らかにしたいと考えます。

企業(知財部、研究開発部、事業部等)や、弁理士、弁護士等知財関連専門家、中小企業経営幹部、ベンチャー企業関係者、学生の皆さん等、ふるって活発な論議にご参加いただければ幸いです。

【議事次第】

第一部

2010年1月12日(火)

14:45-15:00 「経営デザイン専攻の紹介」 早大経営デザイン専攻教授 大成 尚

15:00-16:15 基調講演 日本知的財産協会 中山 喬志 専務理事

場所: 早大理工キャンパス63号館201

第二部

2010年1月19日(火)

18:00-18:15 「事業サイクル・部門と直結した知財マネジメント」 早大経営デザイン専攻教授
森 康晃

18:15 講演 藤末 健三 早稲田大学客員教授・参議院議員

18:45 講演 辻村 英雄 サントリーホールディング(株)常務執行役員 R&D企画部長 生産企画部・知的財産部担当 農学博士

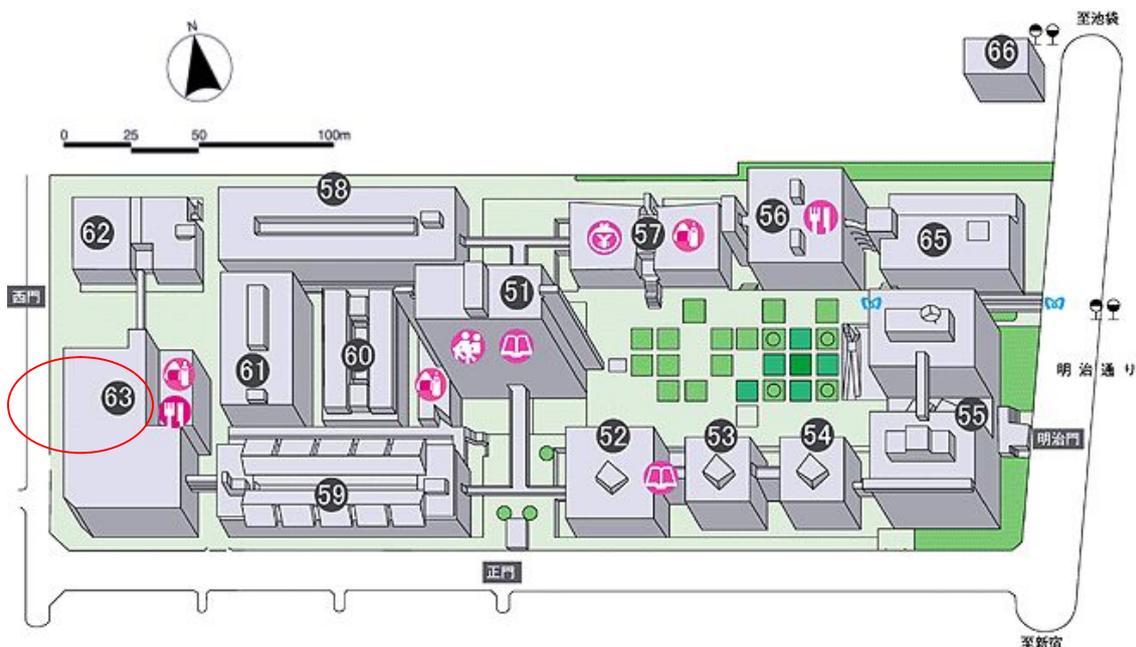
19:15 「オープンイノベーションの進化と『動的』知財」 時吉 康範 日本総研 技術価値創造リーダー

19:35-20:30 パネル「討論:MBA、MOTの評価と、企業の知財マネジメントの今後のあり方」
奥山 尚一 弁理士(久遠特許事務所所長)、宿輪 純一 早稲田大学非常勤講師(三菱東京UFJ銀行企画部経済調査室上席調査役・エコノミスト)、時吉 康範 日本総研 技術価値創造リーダー、鶴原 稔也 ドコモ・テクノロジー株式会社 知的財産部長、百瀬 隆 日本知的財産協会 常務理事、渡辺 修二 中小企業大学校東京校 研究開発課長、森 康晃早大経営デザイン専攻教授(司会)
(注)会場でアンケートをとらせていただき、参加者の皆様のご意見をパネルに反映していく予定です。

場所:早大理工キャンパス63号館201

入場無料 (メールで、森研究室(m.cats@y.waseda.jp)に、第1部、第2部(両方可)につき、各前日までに、3ページに別添の参加申込書でお申込みください。

(地図 <http://www.waseda.jp/jp/campus/okubo.html>)



住所:169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

◇地下鉄東京メトロ 副都心線 西早稲田駅 キャンパス直結 徒歩 3分

◇JR山手線 高田馬場駅 徒歩 15分 ◇西武線 高田馬場駅 徒歩 15分

参加申込書

申込先 (Eメール) m.cats@y.waseda.jp

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早大理工 51号館 4階

早稲田大学 経営デザイン・知財マネジメントプロジェクト研究室(奥山、簡野)

Tel 03-3203-4141(内線 73-3795)、Fax 03-5286-2919

～ 第1回 価値創造産業と『動的』知財マネジメント シンポジウム ～

申込書希望のA, Bに、○をつけてメールかFAXで送付してください。(A, B両方参加は可です。)

※ 締め切りは、第1部 前日の2010年1月11日(月)18時、第2部 前日の1月18日(月)ですが、資料用意の関係上なるべく早めにお知らせいただければ幸いです。

A. シンポジウム 第一部 (1月12日(火) 14:45-16:15)に参加します。

B. シンポジウム 第二部 (1月19日(火) 18:00-20:30)に参加します。

○氏名:

○勤務先:

○役職又は職種:

○メールアドレス:

(参考 早稲田大学創造理工学研究科 HPより)

経営トップから、経営デザイン専攻へのメッセージ

http://www.bdm.waseda.ac.jp/major_in_business_design/message.html

早稲田大学の大学院創造理工学研究科に新設される経営デザイン専攻に大きな期待をしています。

世界の成長と繁栄は、従来の欧米先進国からアジア全域に大きくシフトしています。世界の人口の過半を占めるアジアが、いよいよその影響力を強め、今後の成長センターとして、世界の経済をリードしています。閉塞感がある日本の事情とはまったく違うアジアの現状と未来が、ここにあります。また、携帯電話とインターネットを融合したモバイルコンピューティングの発展が、人々の生活と意識を大幅に変えています。まさに人々が今まで夢見ていた新しい世界の現実が、ここにありますが、経営デザイン専攻において、このアジアの発展と日本を繋ぎ支える、最先端の技術のわかる理工系の経営者が育成されることでしょう。

株式会社ファーストリテイリング
代表取締役会長兼社長 柳井 正
早稲田大学政治経済学部卒

(注) 株式会社ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長 柳井 正氏は、本シンポジウム(2010年1月12日、1月19日)の講師ではありません。

早稲田大学 大学院 経営デザイン専攻(修士、博士課程)社会人プログラム(夜間、土曜日)
入学募集と、知財マネジメント研究プロジェクトのご案内

2010年4月に、日本の活力を生み出す最前線の価値創造型リーダーの養成のため、経営工学、機械、IT、化学、バイオ等理工系の固有の技術を有する学部卒一般学生と、社会人(実務経験5年以上、理系・文系を問わず)を対象に、入学希望者を募集します。

(出願期間:2010年1/12-1/20、入試(面接) 2/27 合格発表 3/4)

価値創造型の企業系にとって不可欠な経営工学科目(オペレーションズリサーチ、プロフィットエンジニアリング、ライフサイクルエンジニアリング、品質マネジメント、ヒューマンファクターズマネジメント等)を中心とし、その中に、知財を制度論ではなく、経営企画、製品設計、デザイン・ブランド、生産管理、マーケティング等経営の各段階の中で知財を活用するプロジェクトメイキングを主体とした『動的』知財マネジメント研究プロジェクトを位置付け、実践的な教育・研究を行います。

1. 特色

- 社会人にとって学びやすい講義は、夜間、土曜日に行います。(修士課程 1.5年)
- 専任教員が中心になって、経営幹部等のゲスト講師によるプロジェクト作りとその分析が学べます。
- 中国等新興国や世界の市場をターゲットとしたプロジェクトベースの研究を行うことができます。

2. 講義・演習(知財マネジメント関連について)

・前期 前半 知財マネジメントの基礎-『動的』知財マネジメントの活用法、スタートアップ企業の経営幹部のプロジェクトの組み立て方(例:①リバースエンジニアリング、先行技術調査、②技術マーケティング、③デザイン、ブランド、クレーム処理等、④中国等新興国を中心に世界展開の基礎。)

金7限(19:55~21:25)、7回(各90分。以下、同じ。)

中小企業基盤整備機構・中小企業大学校の協力を得て、一部、企業経営者をゲスト講師として実践的な講義を行います。

・前期 後半 グローバル知財マネジメントー自動車の電動化・電脳化のプロジェクト作りをベースに、経営の各工程・部門と有機的に連携し、中国等新興国や世界のマーケットを対象とする『動的』知財マネジメントを解説します。(株)日本総合研究所との共同研究をもとに講義を行います。 金7限 7回

・後期 テクノロジー応用デザインプロジェクト演習ー技術をもとに製品設計、事業化への応用をプロジェクトをベースに演習を行います。自動車の電動化・電脳化のプロジェクト作りを事例として、一般モデルとして、企画立案、製品・事業設計、環境・知財等各段階に必要な能力を演習により身に付けます。

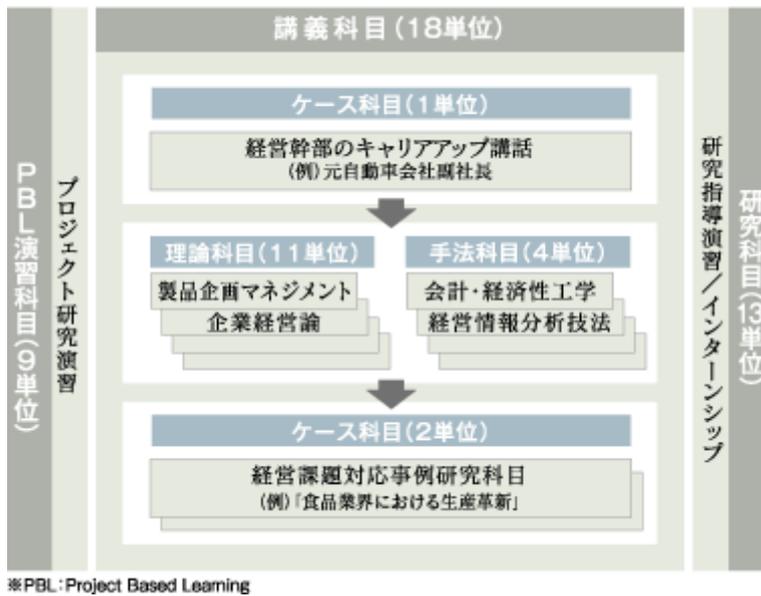
(株)日本総合研究所との共同研究をもとに演習を行います。 土3、4限(13:00~16:15) 14回

・その他、正規科目以外にゼミとして、希望者は、北京大学知的財産センターとの連携による技術マーケティング、『動的』知財マネジメントのプロジェクト研究に参加できます。

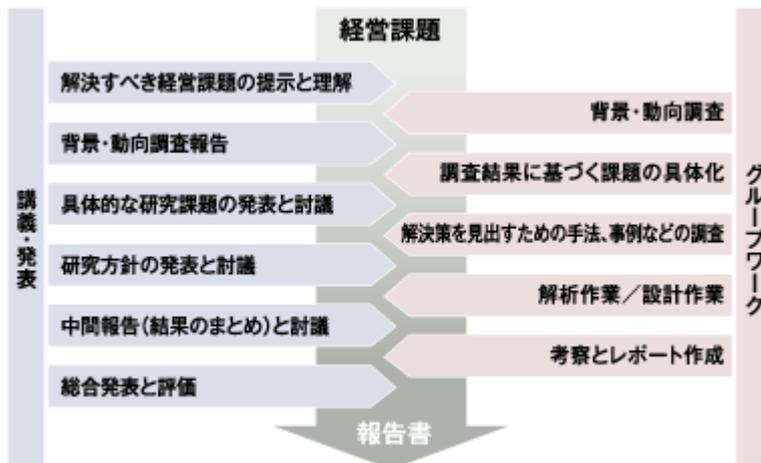
(注)経営デザイン専攻においては、講義・演習で経営工学の各科目を履修する必要があります。また、入学出願にあたっては、5年以上の実務経験と、TOEICまたはTOEFLのスコア提出が必要です。

◆ 問合せ先:森康晃研究室 (e-mail m.cats@waseda.jp、電話 03-3203-4141(内 73-3795))

講義科目とPBL(プロジェクトベース教育)、研究指導の体系



講義・発表・グループワークの進め方



講義科目一覧

ケース 科目	技術系経営幹部講話
	経営課題対応事例研究 A
	経営課題対応事例研究 B

理論科 目 (共通)	企業経営論
	ファイナンス・投資戦略論
	組織・人的資源マネジメント
	経営情報マネジメント
	経営品質マネジメント
	イノベーションマネジメント
	技術者のための国際企業経営リーダー論
手法科 目	会計・経済性工学
	コストエンジニアリング
	機能システム設計法
	品質マネジメントシステム
	BPRのための分析・評価法
	クリティカルシンキング
	経営情報分析技法
	経営計画分析技法
メソッドエンジニアリング	
リスクリテラシー	

理論科 目 (領域 別)	テクノロジー — 事業デザイン —	技術経営論	商品開発 マネジメン ト	製品開発マネジメ ント概論
		科学技術・知財の商業化プ ロセス		製品企画マネジメ ント
		技術アライアンスマネジメント		利用品質設計

		経営事業計画		価値分析・価値設計
		知財マネジメントの基礎		生産設計マネジメント
		技術アセスメント		マーケティングリサーチ
		先端技術産業分析		CSR(企業の社会的責任)
	グローバル 環境経営 デザイン	グローバルロジスティクスマネジメント	競争力 マネジメント	生産マネジメント基礎
		グローバル調達マネジメント		生産・流通システム論
		カスタマーリレーションシップ マネジメント:CRM		需給マネジメント
		サプライチェーンマネジメント		在庫マネジメント
		国際ものづくり戦略		ロジスティクスシステムデザイン
		循環型生産システム		ファシリティプランニング
		グローバル経営と知財マネジメント		国際ものづくり進化論

入試情報

◎入学定員

課 程	授与学位	履修プログラム	募集人員 ⁽²⁾
修士課程	修士（経営工学）	一般履修プログラム：2年制	40名
		社会人特別履修プログラム：1.5年制 ⁽¹⁾	30名
博士後期課程	博士（経営工学）		10名

(1) 実務経験5年以上を要します。

(2) 募集人員には、学内推薦などによる人員も含まれています。

◎試験科目

課 程	コース	書類審査	英語 ⁽³⁾	専門筆記試験	面 接
修士課程	一般履修プログラム：2年制	○	○	○	○
	社会人特別履修プログラム：1.5年制	○	○		○
博士後期課程		○	○		○

(3) 英語の筆記試験はありませんが、出願時に、TOEIC または TOEFL スコアの提出が必要です。

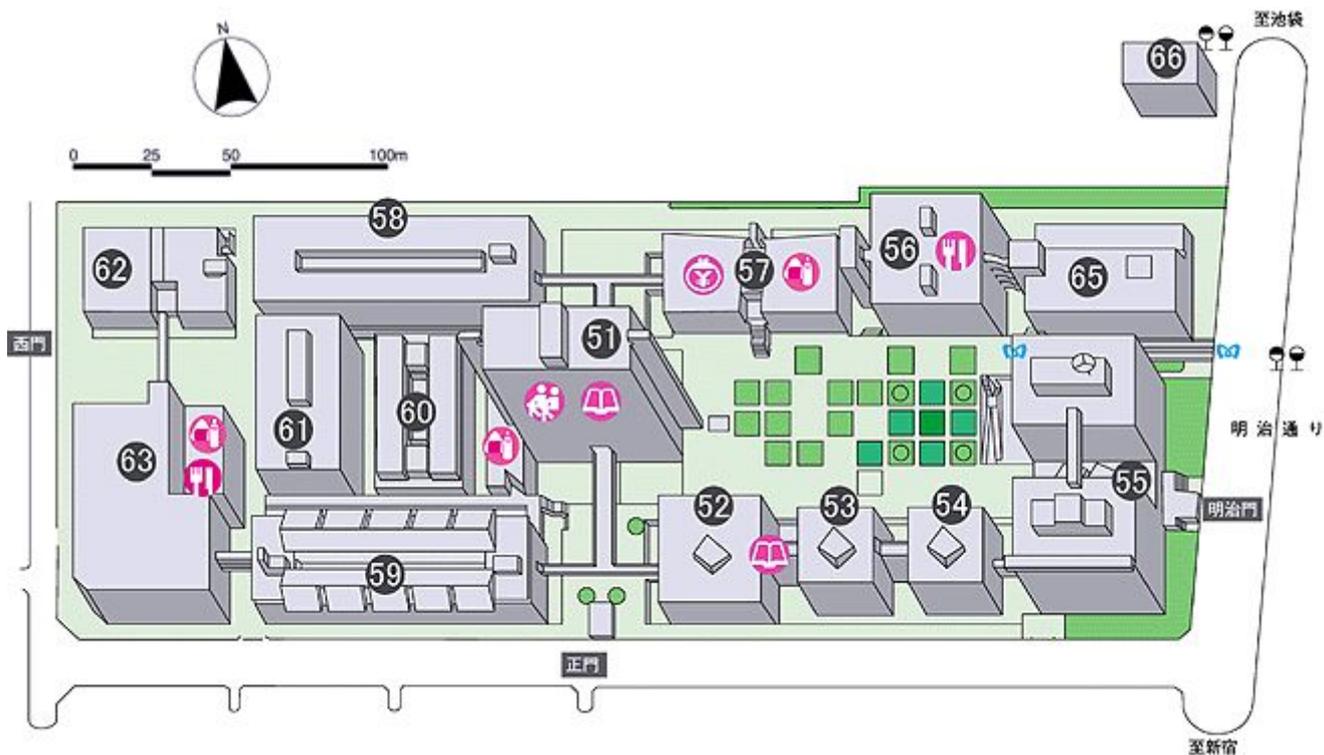
◎入学試験日程

2010年度 入試日程			
	一般履修プログラム (終了)	社会人特別履修プログラム	
		第1回入試 (終了)	第2回入試
出願期間	2009年10月5日～9日	2009年10月5日～9日	2010年1月12日～20日
専門筆記試験	2009年10月25日	—	—
面接試験	2009年11月1日	2009年11月1日	2010年2月27日
合格発表	2009年11月6日	2009年11月6日	2010年3月4日

詳細は、早稲田大学HP <http://www.bdm.waseda.ac.jp/index.html> をご覧ください。

入学試験についての お問い合わせ先
 早稲田大学理工学術院統合事務所
 〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1
 tel. 03-5286-3000 / fax. 03-5286-3500
 e-mail: office@bdm.waseda.ac.jp

早稲田大学理工キャンパス案内図



◇住所 169-8555 新宿区大久保 3-4-1

◇JR山手線 (高田馬場駅 徒歩 15分)

◇西武線 (高田馬場駅 徒歩 15分)

◇地下鉄東京メトロ (副都心線 西早稲田駅 直結)
(東西線 早稲田駅 徒歩 22分)

◇バス (新宿駅西口 - 早稲田)
(高田馬場駅 - 九段下、都立身体障害者センター前下車)